

表 中国外交部発表：第6回日中ハイレベル経済対話で達成した20の重要な合意

	概要	主な内容
1	グリーン発展協力の強化	2025年に中国で第18回日中省エネルギー・環境総合フォーラムおよび炭素排出削減政策対話を開催。グリーン貿易投資協力を強化し、長期貿易協議覚書の更新について意思疎通を維持。
2	生態環境協力の強化	2025年に中国で第4回日中環境ハイレベル円卓対話を開催し、青年環境関係者の相互訪問交流を展開。
3	国際園芸博覧会への参加	日本側は2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO）への中国の参加を歓迎。
4	シルバー経済の育成	養老サービス、介護などの分野での実務協力を強化。中国側は中国で日本側が高齢者産業交流会を行うことを歓迎。
5	第三国市場での協力	双方は第三国市場協力をさらに推進し、協働プロジェクトの進展を共同で評価し、民間企業間協力を推進。
6	博覧会開催と地方間経済協力	日本側は第8回中国国際輸入博覧会の開催を支持し、中国側は2025大阪・関西万博の開催を支持。地方間の経済貿易協力を推進し、中日（成都）都市建設と現代サービス業の開放協力モデルプロジェクトの推進。
7	サービス貿易の協力	サービス貿易における協力を加速し、2025年に日本で日中サービス貿易政策対話を開催。
8	副部長（副大臣）級定期協議の開催 自動車分野の協力 技能五輪国際大会の開催	2025年に工業副部長級協議、中国商務部と日本経済産業省の副部長級の定期協議を開催。自動車分野の協力を継続し、中日自動車対話を継続的に開催。技能五輪国際大会開催に向けた協力。
9	食品安全協力に関する対話	中国海関総署（中国税関）と日本厚生労働省は引き続き食品安全協力に関する閣僚級対話を展開。
10	サプライチェーン強化	サプライチェーンの協力を強化し、日中輸出管理対話および政府・企業間の交流活動を引き続き開催。
11	ビジネス環境の改善	2025年に日本で日中ビジネス環境円滑化ワーキンググループを開催。公正、透明、予見可能なビジネス環境の提供を推進。
12	知的財産権保護の協力	日中知的財産権ワーキング・グループを含む知的財産権保護の協力強化。
13	中国政府部門と中国日本商会の対話	中国政府部門と中国日本商会との対話の開催。
14	日本政府部門と在日中国企業協会の対話	日本政府部門と在日中国企業協会との対話の開催。
15	自由貿易協定の推進	WTOの枠組みの下での協力を強化し、WTO改革を推進。自由で開放された多国間貿易体制の維持と強化に努め、市場開放を維持し、自由貿易を支持。G20、APEC、10+3（中日韓+ASEAN）などのメカニズムの下で経済貿易、財政金融の協力の強化。地域的な包括的経済連携（RCEP）協定を透明かつ円滑かつ効果的に実行。引き続き日中韓FTA交渉の加速化について議論。
16	昆明・モンリオール生物多様性枠組の実施	「昆明・モンリオール生物多様性枠組」の実施を共同で推進。
17	海洋ごみへの取り組み	日中海洋ごみ協力専門家対話プラットフォームの開催。
18	APEC議長国の相互指示	2026年APECの中国側議長、2031年APECの日本側議長に対する相互支持。
19	海事分野での協力強化	第7回日中海運政策フォーラムが6年ぶりに開催されたことを評価し、海事分野の協力を強化。
20	日本産水産物に関する問題	ALPS処理水（中国外交部発表では核汚染水）排出問題と日本産水産物の中国への輸出に係る問題について、中国側は日本側の一方的な排出開始に反対する立場に変化はない。双方は2024年9月20日に発表された共通認識を完全かつ正確に全面的に理解し、長期的な国際モニタリングと中国側の独自サンプリングモニタリングを継続的に展開することを確認し、結果に異常がないことを前提に、日本産水産物の中国への輸出に関する協議を行う。

（出所）中国外交部